



# アクテノン

NO. 113

名古屋市演劇練習館機関紙

## エッセイ



「劇団は一生モノ。  
演劇で学んだ  
3つのコト」

いば正人

(『劇団蒼天の猫標識』代表  
演劇作家、俳優)

僕は「劇団蒼天の猫標識」という団体で演劇をやっています。アクテノンさんにはかれこれ10年以上お世話になっています。

僕が演劇をやって身に染みたコトを3つ書きます。

一つ。劇団はいいものだ。ということ。

蒼天の猫標識は、進級できなかつた、または中退した当時の養成所仲間が、舞台上に立った経験も無いのに、こうなったら自分達で劇団を作ろうと思いついたのが始まりです。

芝居はおろか、脚本に演出、照明や音響、幕をあげるのに必要な全てのコトが何一つ分からないので、まずはとある劇団の出演者オーディションを受けて、劇団とはどうやって回せばいいのだろうか？とノウハウを学ぶところから始めました。

僕が劇団の魅力に惹かれたキッカケはその先で、稽古場で使っていたその劇団のアトリエで一冊のフォ



劇団蒼天の猫標識Route9  
「さよならオフライン」  
'19年8月  
ナビロフトにて

トアルバムを拝見した時です。アルバムには舞台上で笑い、酒を飲む劇団員、数々の舞台の集合写真とその裏側、旅公演での人との出会い、まさにその劇団の軌跡が納められていました。

僕は「こういう人生を歩みたい。僕もこれがやりたい」と、その生き方に恋をしました。今まで特にやりたいコトが無かつた、この僕が初めてやりたいコトを見つけた瞬間です。

主宰が「劇団は一生モノ」と仰っていたのが印象に

残っています。今でもそれは僕の柱になっています。同じ目標に向かって歩める仲間達が生涯、横に居るなんてなんと素晴らしいことか。劇団が存続する限り、僕は一人じゃないのです。

二つ。僕は先輩の言葉で出来ている。

僕が演劇と向き合う時、そこに注がれる演劇の知識は、先輩の言葉から得られています。

渡山さんの“魂は細部に宿る”、はせさんの“明るい諦め”、佃さん

の“気持ちを作ってはいけません”等々、他にも沢山ありますが、感銘を受けた言葉を選び、自身に取り込む

ことで僕は形成されています。また行き詰まった時、そういった言葉が鍵となってくれました。もちろん自分の経験や考えを足してアレンジしています。

もし僕の言葉が次世代へ響いたのであれば、それは古来から脈々と受け継がれているDNAのようなモノです。

三つ。若いうちに進めるだけ進んどけ。歳を重ねたヒトの武器は「何でも知っている事」ですが、若いヒトの武器は「何も知らない事」です。

何も知らない。これはその時だけ使える凄まじい武器です。知ってしまうと恐くて踏み止まってしまうコトばかりだから。でも知らないわけですから、偉い人に対しては下手くそだなぁと言えるのです。

遠い目標なのに手を伸ばせば掴めると思い込むのです。そういう恐れ知らずのうちに、進めるだけ進んでください。下がったモチベーションはなかなか上がりません。いっぱい怒られてもいいし、失敗してもいいから、モチベーションが高いうちに前に進んでください。

やがて下がったとしても、そこまでやってきた自分を振り返った時、自信が付きます。

それでは良き演劇ライフを。そこでお会いしましょう。



劇団蒼天の猫標識Presents  
『私のペットは食用牛2021』  
'21年12月  
G/PITにて

## トピックス

### 「おじさん劇作家の苦悩」

平塚 直隆 (オイスターズ/劇作家・演出家・俳優)



久しぶりにオイスターズに書き下ろすんですね、二年ぶりだと思います。というか、2019年の秋に「みんなの力」という作品を上演して、実はそこで無期限の活動休止したはずなんです。そしたら次の年にコロナで全国的に舞台活動がやれなくなっちゃって、そんなだったらなんかやってやろうと思って、しれーっと配信公演とか続けて、昨年の夏には名古屋と富良野で「日本語私辞典」という作品を再演したんですね。女子高生が主人公の話なんですけど、これが楽しかったので、今度は主人公をおじさんに置き換えて「日本語おじさん辞典」というのを作ろうと思った次第です。で、まあそれが久しぶりの書下ろしなんですけど…、まだ書いてないんです。おじさんの話だ

し、言うても僕、おじさんだし、そんなのすぐに書けると思ったんですね。下敷きもあるんだからゼロから書く訳じゃない、書こうと思えばいつでも書ける、と気楽に構えていたらあれよあれよと年が明けてしまっていてね…、正月も関係なく、混みあうファミレスに籠っている訳ですが…。いや、やる事は決まってるんです。リポグラム(文字落とし)の手法で文字を消して行って、どこまで書けるかという、遊びの一環みたいな書き方をしたいだけなんですけど、これがもう、めんどくさいんです!わかっちゃいたけど、めんどくさい!いやホント、こんなにめんどくさいことやって面白くなかったら、お前何やってんだって話ですよ。



オイスターズ公演  
「日本語私辞典」  
'21年8月19日～22日  
ささしまスタジオにて

〈上演予定〉オイスターズ第25回公演「日本語おじさん辞典」/2022年3月17日～21日/ささしまスタジオ

## アクテノン・シャワー

### ■ 『受賞おめでとうございます』

◇丸蟲御膳末吉(右脳中島オーボラの本妻)  
第1回国際和解説画祭 脚本部門  
「話芸の神髓」で日本語脚本最優秀賞を受賞

◇おぐりまさこ(空宙空地)

TGR2021 札幌劇場祭  
「ひびそい」(OrgofA)で俳優賞を受賞



おぐりまさこ「ひびそい」より

### ■ 資料コーナー企画展

「21世紀からの手紙」

名古屋を中心に活躍する劇団「右脳中島オーボラの本妻」のこれまでとこれからを美術展示をはじめ映像や音声でも楽しめる内容でご紹介します。最終日には会場で新作短編劇を上演します。最新情報は劇団HPでご確認ください。(入場無料)

開催期間:2022年2月12日(土)～3月20日(日) ※月曜日休館  
9:30～19:00(最終日は17:00)

会場:演劇練習館アクテノン 1階資料コーナー

[短編劇上演]2022年3月20日(日)11:00～/13:00～/15:00～

※事前予約不要。感染症拡大状況により公演内容が一部変更になる場合がございます。

お願い

入場時は、マスク着用・手指消毒など感染症予防対策にご協力いただきます。  
駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。



劇団HPは  
ここから!



## アクテノン利用団体紹介

① 発足年 ② 団員数 ③ 主な上演作品/会場(上演年) ④ 連絡先

### 演劇 Ange Plume



私たちAnge Plumeは主に宝塚歌劇団の演目を上演しているサークルです。お稽古は週に1～3回、衣装制作から音響なども含め全て団員自ら手掛けております。現在は第9回公演「アリスの恋人」に向けて日々お稽古に励んでおります。それに伴い9期生を募集しています。経験問わず、キャスト、スタッフ共に募集中です。体験、質問など公式SNS(Twitter: angeplume\_nmc, Instagram: angeplume.nmc)のDMにてお待ちしております。

①2015年 ②21名

③「Ernest in Love」-アーネスト・イン・ラブ-/天白文化小劇場('21年) サスペンスコメディ「メランコリック・ジゴロ」-あぶない相続人-/中村文化小劇場('20年) 「Puzzle!!」/伏見JAMMIN('19年)

④天美弥哉

HP: <https://www.instagram.com/angeplume.nmc/?hl=ja>

E-mail: angeplume0509@gmail.com



編集発行/令和4年2月25日(年4回)

名古屋市長官公署 名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



「友の会」会員募集中!  
<http://www.bunka758.or.jp/>



施設からの  
情報を  
ご覧いただけ  
ます!

